

ウルボン1275新線径U11.8

新たな線径となるU11.8を当社で開発し、大臣認定及び（一財）日本建築センターの評定（一般工法・溶接継手工法）を取得しました。【2018年3月14日：BCJ評定-RC0220-06】

●ウルボン1275 新線径U11.8の登場

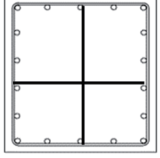
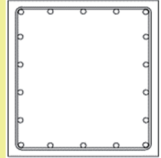
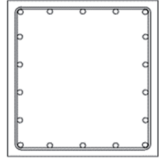
記号	呼び名	公称径 d (mm)	公称 断面積 (mm ²)	単位 質量 (kg/m)	外周筋のみで Pw0.2%を満足する 部材断面(mm)
SBPD 1275/1420	U 7.1	7.1	40	0.315	～ 900迄
	U 9.0	9.0	64	0.500	
	U10.7	10.7	90	0.710	
	U11.8	11.84	110.1	0.864	
	U12.6	12.6	125	0.980	

（配筋ピッチは100mmとなります）

部材断面幅に応じた最適な線径を開発いたしました！

●ウルボン1275 新線径U11.8の特徴

（例）柱断面1,100×1,100(mm)において、過不足なく最小せん断補強筋比Pw0.2%を満足できます。

線径	U10.7	U11.8	U12.6
配筋図			
Pw	0.245%	0.200%	0.227%
重量比	108%	88%	100%

**1,100mm 角の柱断面の場合
従来のU12.6に比べ**

▲12%の重量削減が可能！

（配筋ピッチは100mmとなります）

●ウルボン1275 新線径U11.8のメリット

- 1.対象建物** …… 階層10～20（建物高さ30～60m未満）の柱断面1,100mm角程度迄の部材がメイン。
- 2.経済設計** …… 従来のウルボン1275せん断補強筋量（U10.7/U12.6）よりも更に▲10%程度削減可能。
- 3.設計の独自性** …… 部材の大きさに応じて開発された他にないオリジナルの線径。
- 4.算定ソフト** …… SS7、BUS-6に導入。構造ソフト(BUILD.一貫)に2020年9月導入予定。

●ウルボン1275 損傷制御設計法の適用範囲

- ① **主な対象建物**：コンクリートの設計基準強度21～60N/mm²以下の鉄筋コンクリート造の建物が主な対象となります。
- ② **適用部位**：極短柱・短スパン梁については適用できます。また、矩形断面以外の断面形に対しても本設計指針を準用できます。但し、基礎ばり、円形柱、耐力壁、壁梁、X型配筋部材は適用範囲外となります。
- ③ P_w (せん断補強筋比)：損傷制御評価式における補強量は $0.2\% \leq P_w \leq 1.2\%$ となります。



本社/建材営業課 …… 東京都品川区東五反田2-17-1 オーバルコート大崎マークウエスト16階
TEL.03(3443)5445 FAX.03(5488)7538

大阪営業所 …… 大阪府大阪市北区天神橋2-3-8 MF南森町ビル2階
TEL.06(6353)7110 FAX.06(6353)7124